

# 乳がん高度検診・治療センター

## NEW-す No.127

### 「切らない」乳がんの治療法！ ラジオ波焼灼療法

乳がんは早期発見の小さながんであっても、従来は手術による切除を行ってきましたが、2023年12月に「切らない（切除をしない）」新たな治療方法が保険適用となりました。それは「**早期乳がんに対するラジオ波焼灼療法(radiofrequency ablation therapy: RFA)**」です！RFAは肝臓がん等の治療で行われてきた治療方法ですが、今回乳がんに適応拡大されました。

#### ラジオ波焼灼療法（RFA）とは？

電極針を腫瘍の内部に挿入し、ラジオ波帯(約472KHz)の電流を流すことで生じる**熱**により、**乳がん病変組織等を凝固・焼灼させる治療法**です。針を穿刺するだけで、**手術(切除)をせずに乳がんを治療することができます。**



ラジオ波はAMラジオに近い高周波で電気メスでも使用されているよ！

#### RFAの適応となる方

現在、RFA適応が保険上認められているのは**一部の早期乳がんの方**です。



- ①乳がんの大きさが1.5cm以下(MRIでも確認)
- ②腋窩リンパ節に転移がない
- ③手術の前に薬物治療等を受けていない
- ④術後に必ず放射線療法を行う

☆主な条件は左記の通りですが詳しくは担当医にご確認ください！

#### ラジオ波焼灼療法(RFA)の方法



エコーをみながら電極針で腫瘍(しこり)を貫きます



電極針からの熱により腫瘍を焼灼します



腫瘍が完全壊死に至ったら針を抜いて終了です

- RFAは通常の乳がんの手術と同様に、**手術室で全身麻酔**をかけて行います。
- 熱によるやけどを防ぐため、手術当日の夜は**冷凍パック**で一晩冷やします。
- 当院では**4-5日間の入院**をしていただいています。
- 術後放射線療法を行い3か月後に**針生検で残った乳がんがないことを確認**します